

宇治市議会だより

第146号
平成29年9月1日
(2017年)
発行 宇治市議会
〒611-8501
京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 20-8747 (直)
編集 広報委員会
http://www.city.uji.kyoto.jp/gikai/



6月定例会の様子

6月定例会

(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園 PFI事業補正予算可決

新正副議長でスタート



副議長 関谷 智子



議長 坂下 弘親

地方分権の進展に伴い、地方の独自性あふれる施策が求められる中、議会が果たす役割はより一層大きく重要となつてまいります。
宇治市議会では、28名の議員が、市政を監視し、積極的な政策提言を行うことで、豊かな地域社会の創造と住民福祉の向上を目指し、市民の皆様が安全で安心して暮らせる地域社会実現のため、懸命に努力をする所存でございます。

- 議員
- 山崎 恭一 萩原 豊久
 - 渡辺 俊三 鳥居 進
 - 真田 敦史 池田 輝彦
 - 岡本 里美 秋月 新治

●城南衛生管理組合議会
●監査委員
水谷 修

平成29年5月臨時会は、5月22日に開かれ、正副議長の選挙、各常任委員会委員の選任などの他3議案が可決(承認・同意)されました。
6月定例会は、6月9日から6月30日までの22日間の会期で開かれ、市から提出された「平成29年度宇治市一般会計補正予算(第2号)」を始めとする14議案が可決(同意)されました。また、「いわゆる『共謀罪』」を新設する組織犯罪処罰法改正案を強行採決せず、廃案することを求める意見書」など2意見書、1決議が可決されました。(8面に議決結果を掲載)

市政に関する一般質問は、6月16日、19日、20日、21日の4日間にわたり、17人の議員が行いました。(2~6面に掲載)

5月臨時会

5月22日に開催された臨時会において正副議長の選挙が行われた結果、議長に坂下弘親議員が、副議長に関谷智子議員が選出され、議員選出の監査委員に水谷修議員を選任する議案など3議案を可決(承認・同意)しました。(8面に掲載)

この他、総務、市民環境、建設水道、文教福祉の4常任委員会、議会運営委員会の委員を新たに選任しました。(6面、7面に掲載)

もくじ

- 2~6面 一般質問
新しい委員会構成
委員会の審査報告
会派構成
永年在職議員表彰
- 7面 議決結果
- 8面 議事内容(抜粋)

(8名中7名が改選)

副市長の選任に同意

◎副市長 幸人(枚方市在住)
議会は、副市長の選任に関する議案に賛成多数で同意しました。

6月定例会で可決された意見書

いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案を強行採決せず、廃案することを求める意見書

政府が提出した「テロ等準備罪」が、過去三度国民の強い反対によって廃案となった「共謀罪」法案と何ら変わるところがなく、基本的な人権をおびやかすおそれが高い法律案を成立することは認められない。

よって参議院で「テロ等準備罪(共謀罪)」を新設する組織犯罪処罰法改正案を強行採決せず、廃案することを強く求める。

北陸新幹線の全線整備の早期実現を求める意見書
北陸新幹線の整備は沿線地域の発展、地域経済

農業委員会委員の任命に同意

◎農業委員会委員
議会は、14名の農業委員会委員の任命に関する議案に同意しました。

- 井内 英樹 久世谷幸治
- 小島 佳剛 高田 悦和
- 多田 岳史 多羅尾英樹
- 辻 四一郎 徳田 明子
- 中西 秀友 小林 和夫
- 古川 嘉嗣 水主 哲寛
- 山本晃一郎 吉田 利一

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

◎固定資産評価審査委員会委員
議会は、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する議案に同意しました。

◎固定資産評価審査委員会委員
大石 昭二(宇治市在住)
(敬称略)

一般質問

平成29年6月定例会の一般質問は6月16日、19日、20日、21日の4日間にわたって行われ、17人の議員が質問を繰り広げました。紙面の都合により、その一部をお知らせいたします。



定例会一般質問や、常任委員会をインターネット動画で配信中

生中継・録画中継は、市議会ホームページの「議会中継」でご覧になります。

宇治市議会

検索

市民と市長の対話を市民参画として取り入れては

答弁～市民団体のイベントなどに出向いて市民の声を聞きたい

民進党議員団
おかもと
岡本 里美
さとみ



問 人口減少等による厳しい財政状況の中、これからはいろいろな課題に、さらに市民理解が必要となる。市民と市長の対話ミーティングを年4回実施

答 市の事業としてだけでなく、市民参画の一つとして取り入れていくべきです。これまでから現地に出向き、直接市民の声を聞き、市政に反映するという現地現場主義のもと市政運営を進めてきた。今後も、市民団体の会合やイベントなどに出向いて、市民の生の声を聞く中で答えるスタイルを取り入れ、より活発な意見交換を行い、さらなる市民参画につなげたい。

中学生の防災意識が高まるような展開を

答弁～作成中の副読本で防災を題材にしている

問 地域の防災訓練は休日実施され、部活動のある中学生以上の子ども

答 地域の防災訓練は休日に実施され、部活動のある中学生以上の子どもへの参加が少ない。中学校での防災教育が重要だ。救急講習のほか、消火器の訓練や簡易担架づくり、体育館での避難所設営など、中学生にもできる訓練の幅を広げてもらいたい。

い。今後の中学生の防災意識が高まるような展開について市の考えは。
教育部長 現在作成中の宇治学副読本7年生版は、防災を題材として「命、ふるさと宇治を守る中学生としてできること」というテーマで進めている。中学校での避難所生活を体験する、市のハザードマップを読み取り、フィールドワークで校区の危険箇所を調査するなどの内容も検討している。来年度よりこの副読本を活用した防災学習を進め、本市の中学生の防災意識が高まっていくことを期待している。

防災訓練などドローンを使った訓練に市の考えは

答弁～次年度以降の訓練等に実施可能かどうか検討する

民進党議員団
にしかわ
西川 友康
ともやす



問 ドローンは災害時に、危険な場所や要救助者の撮影等に使用されること

答 危険な場所や要救助者の撮影等に使用されること。ドローンを保有または使用する関係団体と協定を結ぶなどの考えは。

ことでは災害時にドローンを活用できるようにしている自治体もあるが、ドローンの活用は、府と民間団体が協定を締結しており、本市を含む府内での災害発生時には同団体に対し要請を行い、ドローンを活用した情報収集活動等に協力してもらえらる仕組みとなっている。

LINEを使った子育て支援情報の現在の状況は

答弁～多くの登録をされていると考えている

問 市は新規事業でLINEを使った子育て支援

答 多くの登録をされていると考えている。情報の発信を開始されたが、スタートして1カ月

の現在の状況は。
福祉子ども部長 開始1カ月余りで、就学前児童のいる世帯数のおよそ20%に相当する約1200人の登録があり、多くの登録をいただいていると考えている。
問 LINEを使った情報発信に対し、今後の展開は。
同部長 発信の頻度を高めることを検討し、写真などの画像を用いて発信内容の充実を図りたい。
問 今後の機能充実の予定は。
同部長 アンケート機能等情報発信以外の機能の活用も検討していく。

民間委託で競争原理は働いているのか、再委託について監査で指摘

答弁～このような事例を二度と起こさないように努める

共産党議員団
やまさき
山崎 恭一
きょういち



問 市は、仕事を民間に委託すれば競争原理が働いて安くできるのではないか。昨年の情報処理システム52件、約1億7千万円分

答 52件のうち、17件が、委託業者から別の業者に再委託されている。監査委員から、約款違反の再委託があると指摘されているが、今後の対処は。
同部長 このような事例を2度と起こさないよう

べてが入札ではなく随意契約。競争原理は働いていない。
総務部長 結果として特命随意契約が多くなっている。価格の見きわめについては慎重に行っている。

公共施設等総合管理計画で、ともかく20%減はおかしいのではないか

答弁～国の策定指針で示されている

問 公共施設等総合管理計画で、個々の施設についての検討をしていないのに、公共施設を20%減らすと、全体の数字だけ決めて現場を詰めていくというのは国のやり方。自治体は現場から積み上げていくべきだ。
政策経営部長 数値目標は、国の策定指針で記載すべき項目として挙げられている。

問 府内の自治体のうち6割しか数値を入れていない。床面積をとにかく20%減らせると、息苦しくなっていく。大きな施設をたくさん持っている、学校の統廃合が主な対象となるのではないか。
教育部長 しかるべき時期には教育委員会会議の中でもしっかりと議論をしていただき、市教委としての考えをまとめていきたい。

適切な事務執行に努めていきたい。

公明党議員団 鳥居進



内部監査組織の整備の考えは

答弁～本市に適した手法を調査研究する

内部監査は内部統制の6つの構成要素の1つであるモニタリングの一種とされている。内部統制の構築責任のある市長は内部監査組織を整備す

必要があるのでは。政策経営部長 内部統制や内部監査については、本市に適した手法を組織の必要性も含めて調査研究する。

内部統制の手法としては、行政経営の有効性や効率性などの判断を行っていくものである。現在の取り組みも含め、今後のような制度や体制を考えているのか。

同部長 昨年度、事務処の誤り事例や原因、その対応等、リスクの未然

防止策などの庁内アンケートを実施した。今後はアンケート結果も踏まえ、事務の品質向上プログラムを取りまとめ、全庁的に共有を図っていく。

アレルギー除去対応、チェック体制の再整備は

答弁～取り扱いを改めて周知徹底した

学校給食のアレルギー除去対応の事故の多くはヒューマンエラーである。業務改善やチェック

体制の再整備は再発防止に向けて行われたのか。教育部長 アレルギー除去食の取り扱いを改めて教職員に周知徹底し、全小学校で複数でのチェック体制をとっていることを確認した。

同部長 各小学校では養護教諭が中心となって職員研修を行い、啓発用DVD等を活用し、食物アレルギーについての研修やアドレナリン自己注射薬の使い方等について周知している。

公明党議員団 池田輝彦



魅力ある宇治市の未来に向けて徹底した事業評価を

答弁～これまで以上に大胆な事業の見直しに取り組む

市は、多くの財政課題を抱え一課一事業の見直しをしたが、財政の改善につながらず、全庁挙げて取り組みなければならぬ課題が山積みである。

今後、東京都のような徹底した事業評価を行うことで、限りなく無駄を削減し、財源の確保に努めながらも、魅力ある宇治市の未来に向けての新しい事業に投資できる財政状況にしなければならぬと思うが、考えは

政策経営部長 第5次総合計画実現に向け、活動の結果及び成果がどうだったのかを基準・視点として評価し、施策の立案及び事務事業の見直し等、行政改革の観点も含め事

宇治川堤防のさらなる調査と強化の推進を

答弁～適切な管理と強化対策の実施を国に求める

業評価を行っている。魅力あるまちづくりを積極的に推進するために、評価を活かしながら、これまで以上に全庁挙げて大胆な見直しに取り組む。

とだが、地域住民としては、まだ脆弱な部分があり、さらなる調査と強化の推進を強く希望する。ダムの洪水調整機能を向上させる天ヶ瀬ダム再開発事業の進展状況と完成時期は。

理事 現在は、塔の島地区における護岸改修や天ヶ瀬ダムにおけるトンネル式放流設備工事が進められている。堤防の適切な管理と強化対策の実施、天ヶ瀬ダムの適切な放流操作の実施を国に求めていく。天ヶ瀬ダム再開事業は、工期を3年延長し平成33年度までとされ

川の事業として宇治川堤防の強化工事が進められ、平成27年度の工事をもって終了したとのこと。

共産党議員団 大河直幸



3年保育の実施は公立幼稚園、市の就学前教育のために必要

答弁～提言書に3年保育の必要性について示されている

3年保育は保護者からも要望が強い。3年保育の実施は公立幼稚園の現在の4園体制を守って、市の就学前教育の質を担保するためにも必要ではないか。

教育部長 宇治市公立幼稚園検討委員会からの提言書でも、子どもの成長、発達や保護者の子育てを支援する観点から3年保育の必要性について示されている。より良い就学前教育の中核的役割を果たせる公立幼稚園となるように努めていく。

保護者が心配しているのは、3年保育が実施されても、セットで公立幼稚園の統廃合が進められるということだ。公立

公契約条例は労働者賃金を上昇させることに貢献すると考える

答弁～議論が分かれている

公契約条例は市の発

幼稚園の統廃合が進めば、公立幼稚園の教育を希望する市民に通園が保障できなくなる。同部長 就学前教育の充実及び質的向上に向けて、持続可能で効果的・効率的な幼稚園体制が構築できるように努めていく。

同部長 建設業者向けの説明会で、賃金水準の引き上げについて要請した。お願ひするだけでは不十分ではないのか。同部長 国・府の動向を注視していく。

注する公共工事などの受注者に適切な労働者賃金水準を定めて確保を求めるもの。官製ワーキングプアを防いで、賃金上昇に貢献すると考えるが、市の見解は。総務部長 議論が分かれています。同部長 国土交通省から通知が出され、適切な水準の賃金の支払いを指導することが求められている。同部長 建設業者向けの説明会で、賃金水準の引き上げについて要請した。お願ひするだけでは不十分ではないのか。同部長 国・府の動向を注視していく。

共産党議員団 坂本優子



民泊新法に、住民の安心・安全を守る対策を

答弁～観光振興計画後期アクションプランで検討したい

厚生労働省の民泊実態調査では、52・9%の所在地が特定できず、営業許可を受けているのはわずか16・5%だった。民泊新法は、届出だけで

建築確認検査済証、消防法令適合通知書なども除外し、住宅専用地域での営業も可能とする民泊全面解禁法だ。住民の安心・安全を守るため、条例や規則などの対策を。市民環境部長 違法民泊情報をつかめば、府に通報をし、保健所とともに指導に行く。地域の安全、法令遵守の観点から、違法宿泊施設は排除されるべきと考える。観光振興計画後期アクションプランの議論の結果を踏まえ、

住民無視の立ち退き決定は問題、踏切撤去はJRと協議すべき

答弁～住民の意見を受けとめる、府の事業でありJRと協議はない

具体策を検討したい。

必要との意見だった。市も府と連携し、住民の意見をしっかりと受けとめる。同部長 平成24年度の都計道路の見直しで必要ないとして廃止された小倉線路は、今回のつけかえ道路とほぼ同じ線上にある。市はどんな意見を出したのか。街道踏切の閉鎖はJRと協議したのか。同部長 府道向島宇治線整備事業の目的は、宇治橋周辺の渋滞の緩和、踏切の危険軽減であり、観光や地域振興に今後寄与するものと考えられる。踏切撤去は、府が行う複雑化関連事業であり、JRと協議していない。

6月5日、京都府公共事業評価第三者委員会は府道向島宇治線のつけかえ工事路線を了承した。2回の住民説明会の際、立ち退きを決定。余りにも住民無視ではないか。建設部長 第三者委員会でも丁寧で誠実な対応が

民進党議員団 真田 敦史



新たな財源確保に取り組むべきだが

答弁～一つの手法として、クラウドファンディングも検討する

問 財政状況が厳しい中、さらに自主財源を増やす努力が必要だ。他の自治体で成功事例が出ている。税収だけに頼らず新たな財源確保に、しっかりと

取り組みむべきと考えるが、市の考えは。

答 政策経営部長 民間活力の効果的な活用に向けて有料広告事業を展開しており、企業版ふるさと納税も現在取り組みを進めている。さらにクラウドファンディングも、市のプロジェクトを市内外に広く情報発信し、その実

既存の施設を活用した3歳未満児の受け入れ等検討するべきでは

答弁～これまでの枠組みにとらわれず強い決意で取り組み

しながら、利用定員のあり方を必要に応じて見直すことも含め検討する。

問 認定こども園に通う2号認定児が、保護者の就労状況が変わって1号認定に変わろうとしたとき、定員がいっぱいで、そこをやめなければいけない状況があると聞く。市はどう考えているのか。

答 福祉こども部長 認定こども園の特徴を十分考慮

副市長 子育てするならば宇治に住んでみたい、住んでよかったと思える町を目指し、これまでの枠組みにとらわれず、地域・保護者・事業者・行政の知恵を結集して、子ども・子育てファーストが実現できるよう強い決意を持って取り組む。

共産党議員団 山崎 匡



巨額の太閤堤事業。市民の理解が本当に得られるとの考えか

答弁～観光交流拠点として整備する意義は大きく、積極的に取り組む

問 88億円の太閤堤という公共施設。年齢層ごとに効果があるのか。観光に特化して、何が市民にとってよくなったのか。

答 都市整備部長 観光目的

問 88億円の太閤堤という公共施設。年齢層ごとに効果があるのか。観光に特化して、何が市民にとってよくなったのか。

答 同部長 観光客の増加による経済波及効果を算出することは困難。

問 公共施設減らすという一方で、市長肝いりの事業はやる。整合性が取

れないが、巨額事業、税金をつぎ込むことに市民の理解が得られるのか。

答 同部長 観光交流拠点として整備する意義は大きく、積極的に取り組む。

木幡陣ノ内のビジネスホテル。開発させるべきでないと思うが

答弁～法的にはホテル建設が認められる地域となっている

問 住宅地の真横にホテル建設計画。都市計画マスタープランでは、この地域は快適な生活環境

同部長 当該開発地付近には北木幡保育所がある。旅館業法を所管している府へ伝える。

問 伝えるだけでなく、しっかり協議をするべき。

共産党議員団 渡辺 俊三



地域公共交通予算があまりにも少なすぎるのでは

答弁～一概に比較できるものではない

問 公共交通の人口カバ1率は宇治市94・3%、城陽市98・6%、久御山町98・1%。近隣市町より公共交通に恵まれた都市とは言えないが。

答 都市整備部長 公共交通に恵まれている。

問 公共交通体系づくりの今年度の取り組みは。

答 同部長 具体的に示せる状況ではない。

問 山間地域から出されている要望への対応は。

答 同部長 今後の全学的な検討課題。

問 市街地の交通不便地域の対策は。

答 同部長 全てを公共交通で対応するのは難しい。

問 交通政策の貧弱さは予算にも表れている。パ

土砂災害特別警戒区域内の住民の要望は

答弁～避難態勢整備、対策事業実施、補助制度充実等

問 土砂災害特別警戒区域内の家屋数は303家

又運行補助金一人あたり、城陽市は618円、久御山町2042円、宇治市22円。市の地域公共交通予算があまりにも少なすぎるが。

答 同部長 一概に比較できるものではない。

問 急傾斜地114箇所

答 同部長 対策事業の採択基準該当は限られる。

問 隣地の民有地の崖崩れの心配や倒木処理の要望に対する対応は。

答 市民環境部長 危険木除去の助成あり。

京都維新・宇治 片岡 英治



太閤堤よりも学校トイレや障害者の福祉を充実させるべき

答弁～今の時点で示すことが難しい

問 太閤堤のPFIを議会は二度否決をした。今のPFI方式で88億円も金をかけてやっていくというこの重大さ、これまで10年も経っていない

答 同部長 PFIの対象事業は88億円ではなく25・4億円。PFI事業は民間事業者のノウハウの活用が特徴である。

問 PFIで、民間業者のノウハウ活用というの

答 同部長 PFIで、民間業者のノウハウ活用というの

問 PFIで、民間業者のノウハウ活用というの

答 同部長 PFIで、民間業者のノウハウ活用というの

問 PFIで、民間業者のノウハウ活用というの

身体障害者手帳3級所有者の拡充による金額の負担増は

答弁～年間で約6100万円が必要であると試算している

問 平成28年3月末現在よりも、学校のトイレや6100万円のできる重度身体障害者の医療制度を充実させるべき。

答 同部長 どのような施設を造って管理をしていくかは業者の提案に委ねる部分が非常に多く、今の時点で示すことが難しい。

問 身体障害者手帳3級の所有者を対象に医療費負担軽減の拡充をすると、金額の負担増は。

答 同部長 今回の療育手帳Bの拡充と同じ条件の場合で、およそ700人程度が対象で、年間で約6100万円が必要であると試算している。



自民党議員団 中村麻伊子



財政面から見た市政の展望は

答弁～新たな歳入の確保や受益者負担の見直しを行う

問 本年度の予算の中で危惧するのは、法人税収が昨年度より2割の減収を見込んでいること、大きく基金を取り崩しての市政運営であるという

点である。既に市の高齢化率は27%を超え、義務的経費が増大する中で、財政面から見て市政の展望をどのように考えているのか。
[市長] 人口減少に歯止めをかけ、税収の確保に向けて、積極的な投資により、産業誘致、就業、雇用機会の創出を図ることが喫緊の課題となっている。市内経済活性化、市収入の向上を図るとともに、国・府の財源の確保に最大限努め、また、

職員の出張旅費や住宅手当の是正の検討は

答弁～市民理解が得られるような具体的な検討を進めている

問 職員の出張旅費、国基準と異なる住宅手当の是正について、どのように検討しているのか。
[市長公室長] 今日の社会情勢や他団体の見直しの状況を検証してきており、

新たな歳入の確保や受益者負担の見直しを行うなど、歳入増加に取り組む。

これを踏まえて、その水準等が市民理解を得られるものとなるよう具体的な検討を進めている。

問 出張旅費や住宅手当を国基準に見直したり、撤廃した上で本市に住む職員に住宅手当を付与することで本市への定住を促すことを考えるべきでは。現時点で、本市以外に居住している職員の人数と、市が他市に支払っている特別徴収税のうち市民税額は幾らか。
[同室長] 全体の約48%の職員が本市以外から課税されている。概算で約1億2000万円が本市以外からの課税分となる。

無党派 浅井

厚徳



手話言語条例制定の取り組みは

答弁～言語であるという認識のもと、手話の使用を普及させていく

問 手話言語法の制定について国の動きがなかなか見えてこない中、自治体が独自に条例をつくっていく取り組みが始まっている。条例制定に対し

今日までどのような取り組みがなされてきたのか。
[福祉こども部長] 昨年度から関係団体と意見交換を行い、手話による支援の充実や手話に対する理解の促進、手話の普及に取り組んでいる。

天ヶ瀬墓地公園の合葬墓の整備を

答弁～さまざまな観点から検討を進める

問 本年1月に天ヶ瀬墓地公園のあり方検討委員会から、市はセーフティネットとしての役割に重点を置いた墓地運営を行い、墳墓需要にに応じて、合葬墓の整備を検討して

せていきたい。その環境整備の一環として条例を検討していく。
[市民環境部担当部長] 今回の提言は、今後の墓地需要を考えた上で大変重要であると受け止めている。提言の内容を尊重する立場で検討を進めていく。

いくべきとこの内容の提言が示された。この提言をどのように受け止めているのか。
[市民環境部担当部長] 今回の提言は、今後の墓地需要を考えた上で大変重要であると受け止めている。提言の内容を尊重する立場で検討を進めていく。

自民党議員団 木本裕章



健康長寿に向けて市民の歩行量を増やす取り組みは

答弁～体を動かす各種の教室などを行っている

問 多くの研究機関で歩行量と医療費抑制効果について研究発表がなされている。歩数、歩行量の増加が医療費の抑制につながるという事は明らか

か。健康長寿に向けて市民の歩行量を増やす取り組みは。
[健康長寿部長] 成人及び高齢者を対象に、健康づくりや介護予防の観点から、体を動かすことを目的に各種の教室など、さまざまな取り組みを行っている。

問 づくりを掲げ整備に取り組むなど、環境づくりに努めている。

アイデア豊富な政策が出る前に財政的に抑制されているか

答弁～政策と財務の連携を図りながら行財政運営を進める

問 ドローンやICTの活用など、新しい技術が生まれる中で、積極的にアイデアが出るような組織であってほしい。市は政策分野と財務分野とが同じ部に位置づけられて

は。
[副市長] 厳しい財政状況の中ではあるが、政策と財務の連携を図りながら行財政運営を進めていく。職員のアイデアを施策に反映できるよう、職員提案制度や政策研究にも取り組んでいる。また、持続的に発展する町を目指す地方創生の施策・事業を各課から募集し、さまざまなアイデアが出てくる中で予算化をし、国の交付金を最大限活用して取り組んでいる。

自民党議員団 堀明人



宇治川花火大会についての無責任な発表が混乱を来している

答弁～関係機関と継続して調整を行っている

問 宇治川花火大会の復活を多くの市民が期待している。具体的なプランがない中での無責任な発表が、市内関係諸団体に混乱を来している。観光

施策としてやるのかどうかという位置づけを明確に持つべきだ。他市の動向調査や花火をめぐって発生する諸問題のコミュニケーションは行われているのか。
[市民環境部長] 危険な雑踏を発生させないことが実施に当たったので大前提となることから、警備体制について宇治市、宇治商工会議所、公益社団法人宇治市観光協会の主催3社で関係機関と継続して調整を行っている。

太閤堤跡歴史公園整備、市長の考えは

答弁～何としてもやり遂げたい

問 太閤堤跡歴史公園の債務負担行為は原案を二度否決した。PFIの手法を変えるか、中身を変えるなど明確に示してもらわないと賛成できないが、どうするのか。
[都市整備部長] 性能発注方式を採用しており、民間事業者の提案を受けなければ、要求水準を満たす事業計画の具体的な内容を示すことができない。

問 宇治という地名を最大限全国に発信するため、茶道会館をつくってはどうか。生産家、問屋、販売店等の皆さんに相談する場を作るべきでは。
[同部長] 関係者の意見も聞きながら検討を進める。
問 市長の考えは。
[市長] 行政としての役割は、市民とともに守り育て磨き上げた宇治の魅力を国内外にうまく情報発信していくこと。子どもたちに宇治の将来を託すために歴史公園の整備を何としてもやり遂げたい。

共産党議員団 水谷 修



太閤堤公園の財源捻出は

答弁～トータル的に、行革徹底や公共施設等総合管理計画などで

問 市長は記者会見で、「太閤堤だけでなく各施策を行うためトータルに行革を徹底する。公共施設等総合管理計画もそうだし、職員賃金にも踏

み込んでいかないといけない」と語ったと報道されている。そういう考え方なのか。

市長 歴史公園の2億円をどうしていくのかという単純な話ではなく、都市経営の問題として財源を捻出していくためにもトータルに行財政改革を徹底し、また公共施設等総合管理計画にも取り組んでいる。市民だけの負担にするのではなく、職員賃金にも踏み込んでいかないといけない。

「植物公園を閉園し太閤堤の財源に」20年経てばこのようになるのでは

答弁～植物公園とは異にする

問 今後の市政運営への影響について、今後20年、設計、建設、維持管理、運営の全てを委ねることになる。20年先まで責任を持ちかねるとい

を進めると大合唱する中で、最初から大赤字で事業が始まった。植物公園開園から20年経って、民進党は「赤字を解消せよ、いつまでにどう改善するのか本気度を見せろ」と手のひらを返したように大騒ぎ。自民党は「植物公園を閉園し太閤堤の費用に充てる」と言った。20年経ったらこうなるという事例ではないか。

市長 太閤堤は植物公園とは異なる。植物公園は維持管理費が年間2億円。太閤堤は特定目的会社で年間2400万円を限度としていることの違いがある。

共産党議員団 宮本 繁夫



学校給食調理の委託入札は公平公正か

答弁～超過入札は、事業者の予定価格への意思表示

問 昨年12月の大久保小の給食の委託先を決める入札が、不調になり、予定価格を25%引上げ再入札。3月には、委託先業者が事実上倒産し、予定

価格を契約額の4割増に引上げた木幡小では入札参加者がなく、再入札。このことに2度の付帯決議がされたが、その後、どう検討してきたのか。

教育部長 付帯決議は重く受け止めている。現在、他市の契約額等の実情を調査し、本市で給食調理の受託実績のある業者に見積もりを取るなど市場価格把握に努めている。

問 予定価格を公表しているのに超過入札した業者から市場動向を聴取し、

それに近い額を予定価格として再入札し、この業者を指名。こういう入札は公平公正なのか。

同部長 超過入札は、事業者の予定価格に対する意思表示との意見もあり、市場価格を把握する機会と考えている。

問 近鉄小倉駅周辺整備をどう検討してきたのか

答弁～現在、庁内での議論を進めるための準備作業中

問 12月定例会で近鉄小倉駅周辺整備について市長は検討していきたいと答弁していた。どのように検討してきたのか。

市長 一日でも早くという要望についてはよくわかるが、西小倉自治連合会との関係、今後の体制等も含めて検討している時期だ。

新しい委員会構成決まる

常任委員会

◎は委員長
○は副委員長
(平成29年5月22日現在)

市民環境

市民環境部、農業委員会を担当します。

真田 敦史(民進)	山崎 恭一(共産)	岡本 里美(民進)	渡辺 俊三(共産)
秋月 新治(維新)	池田 輝彦(公明)	荻原 豊久(自民)	

総務

市長公室、政策経営部、総務部、会計室、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、他の常任委員会の所管に属さない事項を担当します。

石田 正博(民進)	坂本 優子(共産)	今川 美也(民進)	鳥居 進(公明)
関谷 智子(公明)	木本 裕章(自民)	堀 明人(自民)	

福祉文教

教育委員会福祉こども部、健康長寿部を担当します。

大河 直幸(共産)	宮本 繁夫(共産)	中村麻伊子(自民)	稲吉 道夫(公明)
浅井 厚徳(無党派)	服部 正(民進)	松峯 茂(民進)	

建設水道

建設総括室、建設部、都市整備部、公営企業上下水道部を担当します。

西川 友康(民進)	水谷 修(共産)	山崎 匡(共産)	久保田幹彦(自民)
片岡 英治(維新)	長野恵津子(公明)	坂下 弘親(自民)	

6月定例会 委員会の審査報告

6月定例会中の総務常任委員会、市民環境常任委員会、建設水道常任委員会、文教福祉常任委員会が審査した内容について、その一部をお知らせします。

市民 宇治市文化会館の指定管理者事業を報告 環境 <利用率を上げていくための取り組みは>

【審査項目】
●報告 平成28年度宇治市文化会館の指定管理者事業報告について

市の説明は次のとおり。宇治市文化会館の基本方針は、文化会館の設置目的及び公共性を十分認識し、市民文化の振興と広く文化会館の利用を図ることとして、文化会館の円滑な管理運営と文化センター全館の施設・設備の効率的な維持管理に努め、市民に多様な文化芸術の参加・鑑賞機会の提供に取り組んでいる。入館者数については、平成28年度の大ホール利用

【審査項目】
●報告 平成28年度宇治市文化会館の指定管理者事業報告について

人数が10万1154人、小ホールの利用人数が3万5864人。全体の利用率は63%となっている。これに対し委員から、「利用率63%をどのように評価しているのか」「利用率を上げていくための取り組みは」「他市の施設の平日の利用方法を研究しているのか」「わかりやすいルート表示が必要ではないか」「市がイニシアチブをとって積極的にいかかわりを持つべきでは」と等の質疑が行われた。

総務 公共施設等総合管理計画策定に向け(初案)案を報告 務 <個別施設の計画はいつ立てるのか>

【審査項目】
●報告 宇治市公共施設等総合管理計画(初案)案について

市の説明は次のとおり。宇治市公共施設等総合管理計画の(初案)案を策定した。「計画策定の背景と目的」「本市の概況及び課題」「市民意向の把握」「公共施設等全体の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」「施設類型ごとの管理に関する基本的な方針」「計画のマネジメント」の6章で構成している。総務委員会委員の意見や、第5回宇治市公共

これに対し委員から、「いつごろまでに個別施設管理実施計画を立てるのか」「なぜ計画策定期が全国的にみて後発になったのか」「数値目標を決めるかどうかで補助金などが変わるのか」「本当に公でなければならぬものの整理を」「公立幼稚園や西小倉地域の学校の統廃合はどう進めていくのか」等の質疑が行われた。

建設 通学路交通安全プログラムの今年度の予定を報告 水道 <府や警察との連携はできているのか>

【審査項目】
●報告 宇治市通学路交通安全プログラムにおける安全対策について

市の説明は次のとおり。通学路の安全確保に向けた取り組みを継続的に推進するための基本方針として、平成27年3月に宇治市通学路交通安全プログラムを策定し取り組んでいる。今年度は、これまで安全対策を行った箇所の効果の確認を実施するとともに、新たに中学校の通学路についてもアンケート調査を実施し、通学路の安全対策を検討するための資料を収集する。これをもとに来年度以降通学路安全対策箇所の見直しを行う。

これに対し委員から、「府や警察との連携はできているのか」「交通安全の安全交付金が適用になっているのはどれくらいか」「通行止めや一方通行規制にする場合、そこを通行する近隣住民の印鑑が要るといったことなのか」「要望は学校からあがっているのか」等の質疑が行われた。

文教福祉 宇治市福祉未来基金条例を審査 福祉 <条例にある福祉をどのように考えるのか>

【審査項目】
●議案第51号 宇治市福祉未来基金条例を制定するについて

市の説明は次のとおり。本市における福祉の発展及び充実に資する事業の実施に必要な資金に充てるため、宇治市福祉未来基金を設置する。基金は、事業の実施に必要な資金に充てる場合に限りこれを処分することができると定めており、必要に応じて元本の活用も想定している。なお、具体的な活用案は片内で検討を行っており、寄附者及び遺族の思いにこたえられるよう努める。

これに対し委員から、「新たに基金を設置するのはなぜか」「元本を利用できるように新たに基金を条例化するということか」「今後、目的に該当する基金があれば、この基金条例に入れるのか」「条例にある福祉をどのように考えるのか」等の質疑が行われた。

その後、採決が行われ、全議員の賛成で可決すべきものと決した。

永年在職議員表彰される

永年にわたり地方自治の進展に寄与した功績により、5月24日に開かれた全国市議会議長会の第93回定期総会において、次年度の議員が表彰されました。

◎議員在職10年以上
 石田 正博 議員
 荻原 豊久 議員

会派構成 (◎：団長、○：幹事)

会派名	人数	構成議員
日本共産党宇治市会議員団	7	◎水谷 修 〇宮本 繁夫 山崎 恭一 坂本 優子 渡辺 俊三 山崎 匡 大河 直幸
民進党宇治市会議員団	7	◎松峯 茂 石田 正博 〇真田 敦史 服部 正 今川 美也 岡本 里美 西川 友康
自民党宇治市会議員団	6	坂下 弘親 久保田幹彦 ◎〇堀 明人 荻原 豊久 中村麻伊子 木本 裕章
公明党宇治市会議員団	5	◎関谷 智子 〇長野恵津子 鳥居 進 稲吉 道夫 池田 輝彦
京都維新・宇治	2	片岡 英治 ◎〇秋月 新治
無会派	1	浅井 厚徳

注)本文中では会派名を省略して表記しています。

議会運営委員会

- ◎宮本 繁夫 荻原 豊久
- 〇木本 裕章 長野 恵津子
- 水谷 修 池田 輝彦
- 真田 敦史 片岡 英治
- 西川 友康

広報委員会

- ◎坂本 優子 久保田 幹彦
- 〇池田 輝彦 中村 麻伊子
- 大河 直幸 長野 恵津子
- 真田 敦史 秋月 新治
- 西川 友康

議会運営全般についての協議、意見調整を図るために設けられる常設の委員会、議案、請願などの各会派・議員間の連絡調整や、議会改革に関する諸問題を調査・検討しています。

市政や議会のあり方を市民の皆様と考えるために「宇治市議会だより」を発行しています。また、議会ホームページ等の議会の広報全般や、市民の意見を聞く広報活動について協議・調整を行います。

5月臨時会 議決結果

※議案等の後ろの〈 〉内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。

共産 = 日本共産党宇治市議員団【水谷、宮本、山崎(恭)、坂本、渡辺、山崎(匡)、大河】

民進 = 民進党宇治市議員団【松峯、石田、真田、服部、今川、岡本、西川】

自民 = 自民党宇治市議員団【坂下(注1)、久保田、堀、荻原、中村、木本】

公明 = 公明党宇治市議員団【関谷、長野、鳥居、稲吉、池田】

維新 = 京都維新・宇治【片岡、秋月】

無会派 = 浅井

すべての会派が賛成した議案

議 事 内 容 (※)	
議案	監査委員の選任同意 (注2) 固定資産評価員の選任同意 (注2)
	専決処分の承認 (注2)

会派で賛否が分かれた議案

○印 = 賛成, ×印 = 反対

議 事 内 容 (※)	議決結果	会 派 名					無会派
		共 産	民 進	自 民	公 明	維 新	
意見書案 「テロ等準備罪(共謀罪)法案」の撤回・廃案を求める意見書	否決	○	退席(注3)	×	×	×(注4)	○

選挙結果一覧 (注2)	投票	議長	坂下弘親 (26票)
		副議長	関谷智子 (26票)
		京都府後期高齢者医療広域連合議会議員	服部正 (13票) 中村麻伊子 (13票)
	京都地方税機構議会議員	山崎恭一 (13票) 長野恵津子 (13票)	
指名推選	城南衛生管理組合議会議員	山崎恭一、渡辺俊三、真田敦史、岡本里美、荻原豊久、鳥居進、池田輝彦	

(注1) 議長のため表決に加わっていません。

(注2) 民進1名、維新1名欠席

(注3) 1名欠席、6名退席

(注4) 1名欠席

(※) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。

6月定例会 議決結果

※議案等の後ろの〈 〉内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。

共産 = 日本共産党宇治市議員団【水谷、宮本、山崎(恭)、坂本、渡辺、山崎(匡)、大河】

民進 = 民進党宇治市議員団【松峯、石田、真田、服部、今川、岡本、西川】

自民 = 自民党宇治市議員団【坂下(注1)、久保田、堀、荻原、中村、木本】

公明 = 公明党宇治市議員団【関谷、長野、鳥居、稲吉、池田】

維新 = 京都維新・宇治【片岡、秋月】

無会派 = 浅井

すべての会派が賛成した議案

議 事 内 容 (※)	
議案	平成29年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 職員の退職手当に関する条例の一部改正<総務>
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正<総務> 市税条例等の一部改正<総務>
	福祉未来基金条例の制定<文教福祉> 総合野外活動センター条例の一部改正<文教福祉>
	財産取得<総務> 市道路線の認定(=木幡472号線、五ヶ庄258号線、小倉町220号線)<建設水道>
	市道路線の廃止<建設水道> 固定資産評価審査委員会委員の選任同意
	農業委員会委員の任命同意

会派で賛否が分かれた議案

○印 = 賛成, ×印 = 反対

議 事 内 容 (※)	議決結果	会 派 名					無会派
		共 産	民 進	自 民	公 明	維 新	
議案	平成29年度一般会計補正予算(第2号)	×	○	○	○	(注3)	○
	同修正案[議員提案]	○	×	×	○	(注3)	×
	消防団員等公務災害補償条例の一部改正<総務>	×	○	○	○	○	○
	市道路線の認定(=宇治393号線)<建設水道>	×	○	○	○	○	○
	副市長の選任同意	×	○(注2)	○	○	○	○
意見書案	いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案を強行採決せず、廃案することを求める意見書	○	○(注2)	×	×	(注3)	○
	北陸新幹線の全線整備の早期実現を求める意見書	×	○	○	○	○	○
決議案	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園に関する特別委員会の設置に関する決議	○	×	×	×	(注3)	×
	「議案第45号平成29年度宇治市一般会計補正予算(第2号)」に対する付帯決議	×	○	○	○	○	○

(注1) 議長のため表決に加わっていません。

(注2) 1名欠席

(注3) 1名賛成、1名反対

(※) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。

公明党議員団 池田輝彦
今後19年間、本市が負

算を使うべきである。

市民生活で喫緊の課題に
なっていることこそに予
すべき課題があり、今、
公共交通の整備など、実施
療費助成の拡充、地域公
解消、介護支援施策、医
耐震化、保育所持機児童
レ等の改修、公共施設の
の実施や学校施設、トイ
の実施や学校施設、トイ

賛成討論
共産党議員団 渡辺俊三

市政には、中学校給食
の改修、公共施設の
耐震化、保育所持機児童
解消、介護支援施策、医
療費助成の拡充、地域公
交通の整備など、実施
すべき課題があり、今、
市民生活で喫緊の課題に
なっていることこそに予
算を使うべきである。

これに対し次のとおり
討論が行われた。

宇治川太閤堤跡歴史公園
の理解が得られないこと
が明白である等の理由で
提案する。

宇治川太閤堤跡歴史公園
の理解が得られないこと
が明白である等の理由で
提案する。

宇治川太閤堤跡歴史公園
の理解が得られないこと
が明白である等の理由で
提案する。

宇治川太閤堤跡歴史公園
の理解が得られないこと
が明白である等の理由で
提案する。

宇治川太閤堤跡歴史公園
の理解が得られないこと
が明白である等の理由で
提案する。

議事内容
(抜粋)

一般会計補正予算
(第2号)修正案

「平成29年度宇治市
一般会計補正予算(第2
号)」に対する付帯決議

一般会計補正予算(第
2号)に対し、左記の付
帯決議が賛成多数で可決
された。

喫緊の行政課題に対応
する適切な財源の確保に
向けて、事務事業を見直
し効率化を進めること、
定員管理計画の確実な履
行、公共施設の効率的な
整備など、不断の覚悟で
行財政改革を行うことを
求める。また(仮)宇治
川太閤堤跡歴史公園整備
運営事業の実施において
は、適切なりスク分担と
し、観光駐車場を含む周
辺公共交通の利便性向上
に資する整備や防災面へ
の配慮について検討する
こと。要求水準書を作成
するに当たっては議会に
対し適宜報告を行うこと
を求める。

「平成29年度宇治市
一般会計補正予算(第2
号)」に対する付帯決議

一般会計補正予算(第
2号)に対し、左記の付
帯決議が賛成多数で可決
された。

喫緊の行政課題に対応
する適切な財源の確保に
向けて、事務事業を見直
し効率化を進めること、
定員管理計画の確実な履
行、公共施設の効率的な
整備など、不断の覚悟で
行財政改革を行うことを
求める。また(仮)宇治
川太閤堤跡歴史公園整備
運営事業の実施において
は、適切なりスク分担と
し、観光駐車場を含む周
辺公共交通の利便性向上
に資する整備や防災面へ
の配慮について検討する
こと。要求水準書を作成
するに当たっては議会に
対し適宜報告を行うこと
を求める。

「平成29年度宇治市
一般会計補正予算(第2
号)」に対する付帯決議

一般会計補正予算(第
2号)に対し、左記の付
帯決議が賛成多数で可決
された。

喫緊の行政課題に対応
する適切な財源の確保に
向けて、事務事業を見直
し効率化を進めること、
定員管理計画の確実な履
行、公共施設の効率的な
整備など、不断の覚悟で
行財政改革を行うことを
求める。また(仮)宇治
川太閤堤跡歴史公園整備
運営事業の実施において
は、適切なりスク分担と
し、観光駐車場を含む周
辺公共交通の利便性向上
に資する整備や防災面へ
の配慮について検討する
こと。要求水準書を作成
するに当たっては議会に
対し適宜報告を行うこと
を求める。

「平成29年度宇治市
一般会計補正予算(第2
号)」に対する付帯決議

一般会計補正予算(第
2号)に対し、左記の付
帯決議が賛成多数で可決
された。

喫緊の行政課題に対応
する適切な財源の確保に
向けて、事務事業を見直
し効率化を進めること、
定員管理計画の確実な履
行、公共施設の効率的な
整備など、不断の覚悟で
行財政改革を行うことを
求める。また(仮)宇治
川太閤堤跡歴史公園整備
運営事業の実施において
は、適切なりスク分担と
し、観光駐車場を含む周
辺公共交通の利便性向上
に資する整備や防災面へ
の配慮について検討する
こと。要求水準書を作成
するに当たっては議会に
対し適宜報告を行うこと
を求める。

「平成29年度宇治市
一般会計補正予算(第2
号)」に対する付帯決議

一般会計補正予算(第
2号)に対し、左記の付
帯決議が賛成多数で可決
された。

喫緊の行政課題に対応
する適切な財源の確保に
向けて、事務事業を見直
し効率化を進めること、
定員管理計画の確実な履
行、公共施設の効率的な
整備など、不断の覚悟で
行財政改革を行うことを
求める。また(仮)宇治
川太閤堤跡歴史公園整備
運営事業の実施において
は、適切なりスク分担と
し、観光駐車場を含む周
辺公共交通の利便性向上
に資する整備や防災面へ
の配慮について検討する
こと。要求水準書を作成
するに当たっては議会に
対し適宜報告を行うこと
を求める。

「平成29年度宇治市
一般会計補正予算(第2
号)」に対する付帯決議

一般会計補正予算(第
2号)に対し、左記の付
帯決議が賛成多数で可決
された。

喫緊の行政課題に対応
する適切な財源の確保に
向けて、事務事業を見直
し効率化を進めること、
定員管理計画の確実な履
行、公共施設の効率的な
整備など、不断の覚悟で
行財政改革を行うことを
求める。また(仮)宇治
川太閤堤跡歴史公園整備
運営事業の実施において
は、適切なりスク分担と
し、観光駐車場を含む周
辺公共交通の利便性向上
に資する整備や防災面へ
の配慮について検討する
こと。要求水準書を作成
するに当たっては議会に
対し適宜報告を行うこと
を求める。